

磐城時報

編集者 石城郡平町野田町十四
印刷者 石城郡平町野田町十四
発行所 石城郡平町野田町十四
電話 二四四
代金 一月 二角五分 三月 七角五分 半年 一元二角 一年 二元二角
廣告料 一行 一日 一角五分 一月 四角五分 三月 一元二角 半年 二元二角 一年 四元二角
訂金 先行 一月 二角五分

石城の各階級を網羅し 不況打開の協議會

十一日平町に開き 臨時議會に請願

平町町會議員千葉彦治、佐々木龍若、高橋龜松、その他數氏が發起となり來る十一日午後一時から平町四町日和泉旅館に於て不況打開協議會を開く事になり本町青年會館に開き新妻町つたが、當日は漁村、農村、商長の近畿四國地方の視察談及び工業、炭礦等石城郡に於ける各本年度夏季中遊覽客招引に關する階級の代表者が集まり現下の不況を如何にして切抜く可きかにつき協議を遂げた結果により決議をなし委員を擧げて翌十二日開會中の臨時議會に請願する豫定である。

迎客協議

四倉町で

政府の滞留生系處分案による買加入してゐる關係から乾燥前の上籤期を控へ今までのストックから取引を開始する筈である。

四倉町會

撤水自動車

▲小學校長出張

平町 曾我第一、津田第二、赤津第三 各校校長は九、十、兩日飯坂に開かれる縣下小學校長會議に出席する。

長瀬廉平氏の榮譽 名譽教授の稱號

門弟發起で祝賀會

平町諸曲喜多流教授長瀬廉平氏喜多會が後援となり來る十二日は本年一月名譽教授の稱號を贈正午から平町マートホールでられたので門弟山崎與三郎、木祝賀會を開催する事になつたが村重五郎、野崎滿、佐藤芳松當日は長瀬氏に紀念品を贈り素白土喜伯の各氏が發起となり平町諸會を罷はす豫定で番組月宮殿湯本、四倉、入山、鐵道その他田村、羽衣、鉢木、櫻川、鞍馬業家城縣久慈郡生れ嶋志田市の

必要に迫られて來た 平第四校建設案

一ヶ年四百名宛増ゆる

近年急激に膨脹しつゝある平町はこれに伴ふ小學兒童の増加も亦實におそろふべき數を示し現在町内三小學校の生徒數は四千二百名の多數に上り、之れを十年以前の大正十一年(三千七百七十七名)に比較すれば八百七十名、一ヶ年平均百名近くの増加率であり三小學校に特別教室も普通教室に使用するの止む無きに陥り少からず校舍の狹隘を告げてゐる。隣接部落が合併さるゝ場合あらば必然的に兒童の増加を來すので一部識者間には早くも第四小學校建設促進論がしきりに高唱されてゐる。

今曉田町火事騒ぎ

共同便所に放火

九日午前二時頃平町田町元郵便助(三三)は後備歩兵一等兵とし局裏福榮亭側共同便所に炭俵にて三月一日召集を受けながら行カテナ層を入れて放火したもので方を睡ました陸軍刑法違反事件あり、燃え上つた處を附近の者は八日午前九時から平町で開口が發見消し止めたが平町署では火判事、上田檢事干與の上公判開延來刑通二ヶ月の禁錮を言渡された。

四倉局成績

▲四倉局成績

局五月份の取扱成績左の如し。貯金受一千八百八十九円、拂出七百六十八円十九銭、拂出七百一十三円八千七百八圓五錢、爲替受四百二十五円七千二百九十二圓五十六銭、拂出四百七十五円九千七百四十圓九十一銭。

召集に應ぜず

禁錮一ヶ月

湯本町上水道工事は順調に進行決定されるも同町の現況から見し近く通水する運びとなつたが他の先進都市よりも高率に給水使用料金は下旬頃開かれることは勿論平均利率に依ると町會に附議される筈で目下各部でも各町會議間に意見を呈するものあり、決定までには相當の需要者の數等を基礎として協議目をひいてゐる。

水道料金問題で

湯本町會一派に分る

▲鑛田の賭博

平町字鑛田町周旋業鈴木伊太郎(四七)同鈴木定一(三五)同中野廣吉(神谷村)中野和野甚次郎(四一)の四名は八日夜前記鈴木伊太郎で花合せ賭博開帳中平町署員捕はる。

馬が轢かる

小川村地内で

七日午後九時二十分頃磐城東線江田川前驛間石城郡上小川郷村地内五十二列車が進行中放馬が線路に飛び込ん機關車に觸れ馬が轢かれ即死したが、いづれ馬が不詳。 同附近線路で二十三列車の進行の先きに放馬が飛び込み列車二十分間停車した。

役場書記

人妻と姦通

石城郡大野村役場書記新妻深造(三八)假名は附近の人妻五名と姦通してゐるといふ噂が事なのある。

石城郡で成功した

キヤベツの水田栽培

石城郡農會では本年最初の試みの春蠶は目下上籤期に際し續くとしてキヤベツの水田二毛作を雨天に給桑に困り各養蠶家は病行ふが、反當り一千五百貫約二割發生を警戒してゐるが、生繭十七圓の收穫を見た、麥作のせが二圓前後と稱へられ手間賃をいひ十五圓に比すれば非常に割に合はないので人手有利な結果を得るに至つたため今を借りずにとてても一杯に秋からは麥作と共にこれが栽培行くかどうかと悲觀してゐる折を奨励することゝなつた。因に柄この雨にたゞられては全くや石キヤベツの栽培によれば米作と合せ相當り約六十圓の收穫をみるわけで米價暴落の折柄どうやら採算がされることゝなり農業經營上一新機軸を出したものだといはれる。

降雨と春蚕

石城郡下

夏井川に 腐亂死體

七日午後三時頃石城郡上小川村
地内夏井川の上流に三十八歳位
の男の腐爛死體あるを魚取りに
行つた同村鈴木定助(五〇)が発
見八日平署に届出たが、同署で
検視の結果黒格子縞の羽織にガ
ス縞の袴の中にメリンスの長襦
袢を着傍に粉末カラムチン二十
五瓦入りの壺があり死後二週間
を経過せらるしく懐中に現金一
圓七十銭を所持して居るのみで
身許その他一切不明。

洞穴で倒死

石城郡飯野村大字南白七字大作
地内洞穴に死体あるを九日朝通
行人が発見平署から佐々木部長
出張検視した處同人は好間村北
好間字板木澤十一シモ夫野崎多
藏(六二)と判明した。

讀者論談

吉澤君に與ふ
投稿

(二) 平町 馬場 生
私は考へ續けた過去数年來、
それはまた「黒土」が昔青タイ
ムスと言ふ名稱で郡南渡邊村
畫野から出されてゐた頃から
点々として君達の思想の流を
眺めて来た。そして昔青タイ
ムスの發展と共に君達の思想
も非常に變つて来た。私はこ
の流を、この發展を第三者と
して見て来たが、私が農村問
題を一つの社會問題として考
へ出した時、最早私は第三者
としてゐられなくなつた。祖
國日本の國民として社會問題
に對し第三者の立場など呑
氣なことを言ひる道理がない
如何なる僻村の百姓達の問題
でもそれが社會問題であれば
吾人の問題と云ふに何の問
があるか。



坊やおち

四季を通じて完全母乳代用品
森
ド
ラ
イ
ミ
ル
ク

ドライは…(粉ミルク)
吾が育児界に誇り得る唯一の國産粉末牛
乳で如何に眞良と雖、長期の保存に堪へ
お湯さへ加へれば純良、濃厚な色、味香
共に勝れし母乳と同じ養養價の新鮮牛乳
を得られます。

地方代理店 關内藥局
電話四〇番

和洋銅鐵金物問屋 久 釜 屋 商 店

諸橋久太郎
電話九九番

公債 勸業債券 高價買入

電話賣買
御一報次第店員參上可仕候
平町五丁目二二
佐々木株式店
電話二五三番

半ポンド 九〇
一ポンド 一七〇
三ポンド 五〇〇
迅速と廉價
印刷物は加納活版所
鼻の薬チクノール
平五 山野邊藥局

腸胃 専門 内科
十二指 腸胃病
淋病 婦人病
皮膚病 専門
院醫科 腸胃病
(七〇一話電) 町南町平

各種運動具…特賣
野球用具
庭球用具
各種運動服裝
月星運動靴
どこよりも安い…
御用命は **大塚運動具部**へ
平・田町 電話七七番

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒 **栗守酒**
朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は休眠の助力
栗守酒特約店 **大平屋藥店**
代價八日分圓九十錢 平町一丁目(電四六二)

病室完備 平町南町
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番

耳鼻咽喉科 專
氣管食道科 門
病室完備、自炊の便あり
平町南町 **大和田醫院**
電話一七〇番

高久病院
醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

安齊外科醫院
元赤心堂病院跡
電話四七五

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番